

# 田川まるごと博物館本格始動

## 田川の自然、歴史、文化すべてが展示物、そしてみんなが田川の案内人

3月24日、福岡県立大学講堂で「田川まるごと博物館開館記念式典」が開催され、市内外から約200人が参加しました。

### 田川まるごと博物館プロジェクト

福岡県と田川地域1市6町1村（田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町）で構成する「田川広域連携プロジェクト推進会議」が、さまざまな地域資源を仮想の博物館の展示物に見立ててPRし、地域外の

多くの人たちに田川地域を訪れてもらおうと、平成24年度から取り組んでいる「田川まるごと博物館プロジェクト」。

このプロジェクトでは「情報発信」、「地域資源の整備」、「人づくり」の3つを柱として、これまでのリーフレットや公式ガイドブックの作成、ホームページの開設などの「情報発信」に向けた準備、展

示物となる地域資源の洗い出しや磨きあげ、そして地域の意欲あるみなさんに、博物館の「案内人」になってもらうための勉強会や研修などを行ってきました。

また、特別展として、田川地域の各地でさまざまな体験をすることができる「田川まるごとEXPO2012」を開催するなど、本格始動に向けた準備を行ってきました。

### 田川まるごと博物館開館

3月24日、公式ガイドブックが完成し、仮想の博物館である「田川まるごと博物館」が開館。その記念式典が開催されました。

東鷹高等学校吹奏楽部のアトラクションで幕を開けた記念式典では、まず、「田川まるごと博物館」の概要を、田川広域連携プロジェクト推進会議の顧問であり、北九州市立大学准教授（当時）の内田晃さんが説明。その後、「田川まるごと博物館」の初代館長として、森山沾一さん（福岡県立大学副学

長）が紹介され、挨拶を行いました。

次に、事前に開催された「田川まるごとEXPO2012」の担い手となった5人がその状況を報告。田川市からは、「お茶の入れ方とお菓子を味わう講座」の講師を務めた今村千恵子さんが登壇し、講座実施時の楽しかったことや苦労したことなどを話しました。

引き続き、田川広域連携プロジェクトのもうひとつの柱である「田川・人財力育成プロジェクト」の事業として行われた、田川飛翔塾の卒業生である後藤寺中学校の佐藤宏信さんや弓削田中学校の藤田大祐さん、鎮西中学校の平塚愛美さん、金川中学校の永井康希さんをはじめとする、田川市郡の中学2年生（当時）15人が「田川地域の未来」について、ユーモアを交え発表を行いました。

式典の最後には、タレントの中島浩二さん司会のもと、幼少期を田川市で過ごしたジャズピアニストの山下洋輔さんと森山館長によるトークセッションが行われまし

### 博物館からの魅力発信

た。その際、山下さんによるピアノ演奏も披露され、訪れた人たちはその音色を楽しんでいました。

「田川まるごと博物館」では、田川地域を訪れるみなさんに、館内を思う存分散策してもらい、新鮮な驚きや感動を味わってもらいたい。今後もさまざまな体験イベントなどを計画しています。田川地域の魅力を知らない人には知ってもらいたい、知っている人にはもっとよく知ってもらおう。そうすることで、地域資源の魅力が一層輝きを増し、行ってみたい、住んでみたいと思われる田川地域になるよう、産学官民が連携してプロジェクトを推進していきます。



▲田川飛翔塾での成果を発表する中学生たち



▲ふるさと田川への思いを熱く語る山下さん(右)と森山館長



▲それぞれの活動状況などを報告しました